



明峰

令和7年12月24日

第22号

校長 岡野利男

※第10号でお伝えした1学期の通知表と同じ形式で2学期の通知表をお届けします。「振り返り」を大切に、「見通し」をもって3学期に進んでまいります。

明峰中生 2学期の「通知表」

2学期の明峰中生全体の学校生活を振り返り、次の3つについて、5段階評定します。

【「優しさとさわやかさ」のあいさつ】・・・「4」

***1学期は「3」でした。↑ です!!**

確実に、朝の挨拶の『さわやかさ』が増しました。“ワンストップ挨拶”や“一言挨拶”等に生徒全員で取り組んでいる学校もあり、それはそれで大変素晴らしいことだと思いますが、私が一番求めたいのは、「その子の中に、中学校卒業以降も持ち続けるその人らしい挨拶」です。いつも申し上げているとおり、中学生には不思議な力がある。中学生の優しさとさわやかさは、地域をふるさとを元気にする力がある。当然ながら、そういう中学生は、高校生になっても社会に出ても周囲を大切に、周囲から頼りにされる。

その人らしい挨拶は、その人らしさの1丁目1番地です。例えば・・・

- ・相手よりも先に挨拶をする。
- ・元気よく大きな声で挨拶する。
- ・どんな人にも挨拶をする。
- ・挨拶に必ず笑顔を添える。 等々、自分らしい挨拶を中学生の時期に携えることができれば、それはずっとその人の中で生き続けるとなっています。1学期の通知表（学校だよりの第10号）でお伝えした

○「学校外でも」「制服を着替えても」「一人の時でも」挨拶はできるか。

○「誰に対しても」は大丈夫か。

にも相通ずるところです。ぜひ、御家庭において、「あなたらしい挨拶」を考えてほしいと思います。

【行事への取組とその前後】・・・「4」

***1学期の「5」から ↓ とします。**

3年生が、各行事に向かう過程で見せる仲間意識・ひたむきさは、1学期となんら変わらぬものでした。実に見事であり、明峰中学校の宝だと思っています。総合的な学習の時間の成果を踏まえた見事なプレゼン、合唱コンクール・市内

音楽祭で響かせたハーモニー、人権集会でのぬくもりある手話による歌唱等々。その一つ一つが鮮明に思い出されます。

2学期というときは、下級生にとって、行事に向かう3年生の姿を肌で感じる最後の機会です。一守・破・離一の「守」を正しくくぐった2年生・1年生が数多くいることを願っています。

【生徒同士の相互承認】・・・「3」

***1学期も「3」。3学期に期待。**

「相互承認」という言葉は、2学期の明峰中生のテーマとして掲げた言葉です。

昨日、人権集会の場で、このようなことを生徒に伝えました。

「憲法13条の暗唱を求める理由は、これがあなたの人権意識の背骨・土台となるものだからです。明峰中生の一人一人に、周りの人に迷惑をかけない限り、あなたの送りたい学校生活を送る権利が保障されます。」

誰かの真面目さを、つまずきを、こだわりを、一生懸命を、揶揄することも嘲笑することもなく、尊重し認めること。多くの明峰中生にその意識が備わってきました。間違いなくそれが形となって増えました。一方で、一部には、まだまだ人権感覚のない、とても悲しい言動が散見されることも事実です。それがとても残念でなりません。

去る17日(水)に実施された1・2年生の学年育友会・学級育友会においては、生徒の言葉遣いをテーマに話し合っていたいところであり、育友会役員の方々もこのことを大切なことだと捉えてくださっています。ありがたいことです。

子供たちには、人権感覚を磨きこれからの人生で身を置く集団において、「相互承認」に努める人であってほしい。そう思っています。

2025年の学校だよりは今号が最後です。

保護者の皆様、地域の皆様、大変お世話になりました。どうぞ、よいお年をお迎えください。

